

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

写真は、ニホンアマガエルです。ヤゴ救出の時にプールからオタマジャクシを採り育てカエルにしました。

今年は、オオムラサキのサナギからオス5頭、メス2頭、孵りました。別にメスのサナギを2頭いただきましたが、ヤモリが羽化直前にサナギを食べてしまいました。いままでなぜサナギや幼虫が消えたのかわかりました。

いつも外の小屋で飼育しているオオムラサキの成虫を室内でエノキを囲った少し大きな小屋を作り飼育したところ、猛暑の中いつもより元気に過ごしてくれましたが、次世代に繋ぐ事はできませんでした。



ニホンアマガエル

ウスバキトンボ



写真①



写真②



写真③

上の写真（写真①、②）は、ウスバキトンボです。いままで、ヤゴ救出で頂いてきたヤゴの中には発見する事ができませんでしたが、今回初めて確認することができました。

全体的に地味な色をしています。庭園では毎年8月頃群れをなして飛んでいる姿を目にします。

もともと南方系のトンボで、北に移動すると、そこではヤゴが冬越しできずに死滅してしまうようです。

一見すると羽化したてのショウジョウトンボによく似ていますが、ヤゴの背中の♠（スペード）マークが印象的です（写真3）。19匹採りましたが4匹しか羽化しませんでした。

ヤゴの救出大作戦2023を行いました！



もとぶとしょうがっこう
本太小学校



きざきしょうがっこう
木崎小学校



ひがしみやしたしょうがっこう
東宮下小学校



むかいしょうがっこう
向小学校



ひがしおおなりしょうがっこう
東大成小学校



にっしんしょうがっこう
日進小学校



みそのきたしょうがっこう
美園北小学校



おおやばひがししょうがっこう
大谷場東小学校



なかじましょうがっこう
中島小学校



かしわざきしょうがっこう
柏崎小学校



よの はちまんしょうがっこう
与野八幡小学校



しもおちあいしょうがっこう
下落合小学校

今年も学校のプールからヤゴ(トンボの幼虫)の救出を行い、沢山のヤゴを救出する事ができました。全部で約13,410匹のヤゴを救出し、自然庭園・屋上庭園に放しました。

中学校7校(大原、大宮北、片柳、与野東、尾間木、田島、上大久保)、小学校27校(木崎、芝川、上木崎、海老沼、大砂土、高砂、針ヶ谷、北浦和、本太、芝原、大谷場、美園、美園北、向、東宮下、与野八幡、東大成、徳力、沼影、下落合、尾間木、大砂土、東、日進、大宮西、中島、大谷場東、柏崎)のご協力を頂きました。*順不同です

救出したヤゴの中には、ギンヤンマのヤゴが、34校中12校で救出されました。

内訳は、アカネ属7,988匹、ショウジョウトンボ742匹、シオカラトンボ4,490匹、ギンヤンマ79匹、イトトンボ111匹でした。

その他、ヒメゲンゴロウ、クサカゲロウ、コマツモムシ、ミズカマキリ、アズマヒキガエル、ニホンアマガエルのオタマジャクシも見つけました。表紙のウスバキトンボが一校だけいました。

本太小学校、東大成小学校、木崎小学校、東宮下小学校、日進小学校、向小学校では3年生の授業でヤゴの救出大作戦を実施、うち本太小学校、木崎小学校、東宮下小学校においては、市環境対策課による生物多様性の講義も行いました。与野八幡小学校、下落合小学校では、土曜チャレンジスクールで、親子参加の中、ヤゴの救出を行いました。

ようじ ほうかごじどうか ほいくしゃけんしゅう おこな
幼児・放課後児童課の保育者研修が行われました！

6月23日に、幼稚園教諭・保育所保育士、認定こども園保育教諭における様々な課題に対応し、保育の専門性を高めるための実技研修の一つ「幼児の自然に対する興味・関心を育てるための自然体験」が行われました。庭園で生き物に触れたり、玉ねぎの皮を使った草木染めを行いました。



ようじ ほうかごじどうか
幼児・放課後児童課



ひろば い ものたいけん
広場で生き物体験



くさきそめさくひん
草木染作品



しすいせいせいぶつちょうさ けっか こうかい
「さいたま市水生生物調査」の結果を公開しています。

さいたま市では、平成14年より、市内の水環境の状況を調べるために、川の生きものと水質の調査を実施しています。現在は、市内を流れる鴨川、芝川、綾瀬川、元荒川の4つの川で、魚、底生動物（貝やエビなど）、植物について、3年ごとに調査を行っています。

この度、平成22年度以降の調査について、ホームページで公開を始めました。

<https://www.city.saitama.jp/001/009/017/005/p091246.html>



これまでの調査から、ミナミメダカ、ナガオカモノアラガイ、タコノアシなどの重要種が発見されています。ただし、外来種についても年々増加傾向にあり、最近の調査でも、コウライギギ、チャネルキャットフィッシュなど新たに確認された生きものもいます。

さいたま市では、こうした結果を踏まえ、川の水質や、生きものを守る方法を考えていきます。
 （さいたま市環境局環境共生部環境対策課 柿本記）

かくにん じゅうようしゅ
<確認された重要種>



ミナミメダカ



ナマズ



ナガオカモノアラガイ



タコノアシ

かくにん がいらいしゅ
<確認された外来種>



コウライギギ



チャネルキャット
 フィッシュ



サカマキガイ



マルバアメリカ
 アサガオ

未来くるワーク体験が行われました



おおはらちゅうがっこう
大原中学校



みむろちゅうがっこう
三室中学校

6月26日～28日大原中学校2年生、7月4日～6日三室中学校2年生の未来くるワーク体験を行いました。それぞれ、みぬま見聞館の開館作業、庭園のプランターの植え替え、屋上庭園・庭園の整備等を体験しました。

団体見学について



ひろば い さが
①広場で生きもの探し



みず い さが
②水の生きもの探し



ひろば い さが
③広場で生きもの探し



ストラップ づくり
④ストラップ作り

6月19日 芝川小学校2年生が生活科の授業で訪れました。(写真①②)

7月18日 聖フランソワ幼稚園が遠足で訪れました。(写真③)

7月20日 神戸幼稚園が遠足で訪れました。(写真④)

なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。

お知らせ

- 9月1日(火)「いきもの、みつけた!写真展」の写真の募集を開始します。
- 11月26日(日)秋の自然観察・環境学習会が行われます。

以上を予定していますが、状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

開館時間 9:00～17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。

